

# 地域密着型サービス事業者 自己評価表

( 認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所 )

事業者名	グループホーム つつじⅡ 第1ユニット	評価実施年月日	平成20年1月31日
評価実施構成員氏名	渋谷 育美・村山 有紀・尾山 昌子・花田 明美・藤田 広子		
記録者氏名	渋谷 育美	記録年月日	平成20年3月1日

北海道保健福祉部福祉局介護保険課

□は外部評価項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	独自の理念があります		今後も理念を念頭に努めていきたいとおもいます
<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取組み 2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	フロア内や休憩室などに理念を貼っている		日々の生活の中で実践しています
<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	見やすい所に理念を貼っています 推進委員会等でご家族や地域の方々に参加していただき日々の取り組みや生活を伝えています		推進委員会にご家族や地域の方々に参加していただき日々の取り組みや生活を伝えています
2. 地域との支えあい			
<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	玄関周りには草花が植えられ花壇を作っています 中庭では野菜を作ったりニワトリを飼うなどしています また中庭には椅子が置いてあり気軽に訪ねていただける様努めています		隣の施設の方も散歩の際ニワトリ小屋を覗いたり中庭の椅子をご利用されたりしています
<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 5 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	小学校の催しやお祭り、収穫際など参加させていただいている 地域のボランティアの方(音楽・お茶・整体)に来ていただいたり毎月近所の美容室にも行っています。	○	近隣の催しがあれば出来る限り参加していきたいです 又、ホームでの催し物にもお誘いしていきたいです
<input type="checkbox"/> 事業者の力を活かした地域貢献 6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	春には花壇作り夏には夏祭りのお手伝いをさせていただいています	○	今後も協力をお願いしたいと思います

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>職員全員で評価に関わり改善するように取り組んでいます</p>		改善する内容があれば課題として取り組んでいます
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>2ヶ月に1度運営推進委員会を開催しています ご家族や民生委員さんから意見を伺っています</p>	○	毎回ではないが利用者さんにも参加してもらっています サービスを受ける側からの意見を伺う機会にもなりサービスの向上に活かしていきたいです
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>機会を作るようにしているが調整が難しく行えていない</p>	○	市町村と連携しサービスの質の向上に取り組んで行ける様努力していきたいです
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>研修で学んでいるが該当者はいない</p>		その機会があれば検討する
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> <p>虐待のシンポジウムに職員は参加しています 社内で身体拘束委員会を設置しています 社内研修での勉強会も行っています</p>		今後も社内研修に盛りこんでいきます 講習や研修に参加していきたいです
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>新たに入居する方がいない</p>		その時には立ち会って学んで行きたいと思います

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	日常生活で不満はないか聞く様にしている		大きくならないうちに希望をとり入れる努力をしている
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	2ヶ月に1度報告としてお便りを送っています 利用者の表情もわかる様に写真も貼付しています		今後共続けていきたいとおもいます
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご本人、ご家族の望む所に相違があるけれども時間をかけて希望を叶える様にしていきたい	○	ご本人の負担にならない様考え、様子を見ながらご家族の希望をも叶う様にしていきたいです
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に1～2度フロア会議を行っています 職員からの意見や提案を聞く事があれば反映しています		今後も職員の考えや意見を反映できる様に努めていきます
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	体調の変化などがあつた時に応援体制があります		今後もそれを続けて行きたいと思います
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	異動時、離職時には見守り心配りの強化に努めています		関わりを多く持つ様にし少しでも寂しさや不安を解消していただける様に努めていきます

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p> <p>社内勉強を月1回行っています 実践者研修や市役所などで行っている社外研修にも参加しています</p>		今後共積極的に社内・社外研修を取り入れ参加していきたいです
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p> <p>道内のグループホームに積極的に見学へ行き質の向上に努めています</p>		今後共見学へ行き質の向上に努めたいです
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p> <p>職員が気軽に話せる状況にあるとおもいます</p>		個人的に親しい人が声をかけ話を聞いたり相談にのっています 必要に応じ先輩や上司に対応してもらっています
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p> <p>それぞれの職員が能力を発揮出来る様に心掛けています</p>		自分の考えを話したり実行出来るように配慮があり自信につながる様にとっています
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> <p>新たに入居する方がいない</p>		その機会があればお会いする機会ごとお話を聞き、受け止める様努めていきたいと思っています
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> <p>新たに入居する方がいない</p>		その機会があればお会いする機会ごとお話を聞き受け止める様努めていきたいと思っています

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	新たに入居する方がいない		ご本人やご家族の気持ちを知り出来るだけ添える様にと考えて行って行きたいです
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	新たに入居する方がいない		ご本人の性格や生活環境をふまえて又ご家族の心情を考慮しながら行って行きたいです
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	家事などの場面では料理の作り方を教えていただいたり食材を切ってもらうなどして共に支え合う生活をしています		今後も支えあい生活して行きたいです
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	日々の生活面、精神面についてご家族と共有しご本人を支えていきたいと思っております		今後も小さな事でもお互いに話しご家族の参加できる場面を維持していきたいと思っております
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	ご本人やご家族とよく話し生活歴や性格を理解しよりよい関係になる様支援しています		電話をしたりお便りをだしたりと生活状況を伝えています 又、気軽に面会していただける様支援して行きたいです
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	友人。知人の方が迎えにみえられ週1回教会へ行っている利用者もいます		今後も維持できる様支援して行きたいです

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	難聴者には職員が仲に入り会話のお手伝いをしています お茶の時間にはテーブルを囲み利用者同士の会話が弾む様に努めています		今後も職員が周りの様子を見て仲間作りが出来るよう支援していきます
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	サービス利用の終了の方がいない		ご家族や利用者の方をお見かけした時は気軽に寄っていただける声をかける等関係を断ち切らず付き合いを大切に行きたいとおもいます
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	3ヶ月に1度ケアプラン作成の際本人の思い暮らし方の希望を尋ねています。 日々の会話の中からも本人の気持ち・思いを聞き出しています		今後も困難な方にはご本人にとって安心・安楽とは何かを考え本人本位に検討する様努めていきます
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族やご本人にお聞きし独自のフェースシート・インフォメーションシートを作成しています。職員は必ずそれらに目を通し利用者の把握に努めています		今後も職員全員が個々の内容を把握していく事を続けていきたいと思えます
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	日々の関わりの中で心身状態の把握に努めています		職員間や夜勤者からの情報交換を日々行い確認しています
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	会議を開きそれぞれの意見やアイデアを出し合い作成しています ご家族には面会の際ご意見をお伺いしています		今後共継続して取り組んでいきたいです

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	病気・ケガ・身体の変化など個々の状況に合わせて見直しを行っています		今後も現状に即した計画を作成し実践する様努めていきたいです
38 ○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個々に1日の様子を記録しています、職員は必ずそれに目をとめています 又、職員共有のノート(日中・夜間)に記入して情報を共有し見直しに活かしています		今後とも日中時、夜間時の情報を交換し介護記録や実践に生かしていきたいです
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	専門職種の応援が得られる様になっています		看護師・歯科衛生士・マッサージ師などその時に手助けが出来るようにしてあります
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○ 地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	町内会、学校、民生委員、ボランティアの方々と不定期だが関わりを持っています 年2回消防訓練を行ってもらい年1回救急救命の講習を行ってもらっています	○	今後も維持していきたいです
41 ○他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	他のケアマネや事業者と連絡をとっています		入居の際の相談や転居などで協力を得ています
42 ○地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	2ヶ月に1度推進委員会のお知らせを行っているが未だ出席ならず	○	出席していただける様今後もお知らせしていきたいです

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	かかりつけ医があり気になる事があれば相談しています必要に応じ先生より指示をうけています		ご家族と相談しながら必要に応じて受診しています
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	かかりつけ医が近隣にあり受診しています		専門医の受診が必要な際は紹介して下さいます
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	気になる事があれば相談にのってもらっています		今後も継続していきたいです
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	利用者の入退院がない為行っていない		今後 入退院があった場合、病院関係者との情報交換や相談にのっていただき出来るだけ早期に退院できる様に支援していきたいです
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	協力病院他の施設と相談しながらご本人ご家族と話し合いスタッフと確認しています		必要に応じその方に合った機関の利用を支援しています
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	主治医の指示のもとご家族と話し必要に応じて対応しています		医療的に治療の後にホームでケアが出来る部分を見つけ生活の維持を図っています 病院同行、救急車依頼状況説明を行いご家族が到着するまで付き添っています

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
<p>49 ○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>該当者がいない為行っていません</p>		<p>今後そのような状況になった場合十分な話し合いを行いダメージを防ぐことに努めて行きたいと思います</p>
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
<p>50 ○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>慣れすぎず柔らかい口調で人生の先輩という事を忘れず日々対応しています</p>		<p>それぞれの尊厳を重視しながら関わっています</p>
<p>51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>それぞれの現在の状況に応じ不安にならない様わかりやすい声掛けを行っています</p>		<p>これからも本人の意向を表現しやすい様心掛けます</p>
<p>52 ○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>日常生活をゆったりと自分らしく過ごせる様に心掛けています</p>		<p>起床時間・就寝時間・食事の場など一人ひとりのペースに合わせて支援しています</p>
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>53 ○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>その人らしい身だしなみを支援しています 理容・美容室も本人の望むお店に行ける様に努めています</p>		<p>好みを考慮し支援しています 美容室ではご自身に希望のカットを聞いています</p>
<p>54 ○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>無理せず快く行っていただける様利用者に合わせてお願いし職員と一緒にしています</p>		<p>状況に合わせて一人ひとりが食事にたずさわっていただける様努めています</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	健康面に配慮しながら出来る限り好みの物を提供し日々楽しめる様支援しています		日々の生活の中で嗜好を知り出来るだけ考慮し楽しめる日々を送って頂ける様、努めています
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	個々の排泄パターンを把握する様日々職員間で(夜勤者も含め)情報を共有し声掛けや誘導を行い気持ちよく排泄できる様、暮らしていける様心掛けています		行動や声掛け等に考慮し尊厳を大切に今後も対応していきたいと思ます
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	体調や本人の気分に配慮し出来るだけ自分のペースで入浴出来る様又、満足感爽快感につながる様心掛けています		今後も継続して支援していきたいと思ます
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	都度、日中の様子や運動量を知り、安眠につながるよう又、危険がないよう見守りを行っています		個々の睡眠パターンを把握し支援しています
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	趣味や得意な事を自身の日々の役割として行い生活の張りにつながる様支援しています		日々の生活の中で新しい役割や楽しみについても支援していきたいです
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	何人か自分でお金を所持している方はいます、他は事務所金庫に個別にお預かりしています 歯ブラシ、歯磨き粉等はこちらで要望に合わせ購入しに行っています		要望に応じ近くのお店と一緒に買いものに行けたらと思っています

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	散歩へ行ったり近隣にソフトクリームを食べに行ったり、ホームのバスに乗りお花見や紅葉ドライブ等へ出掛けています 無理強いせずその日のご本人の気持ちを重視するようお誘いしています		今後も体に無理のかからない楽しみを見つけて行っていこうと思います
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	お花見、紅葉ドライブ等へバスにのり出掛けています 家族と共に外出・外泊する利用者もいます		職員と仲間で近くまで散歩をする事、ご家族と出掛けたりされています
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	本人からの希望があれば支援しています		今後もご本人の気持ちに添った支援をしていきたいです
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	気軽に立ち寄れる雰囲気而努力しています又、職員の顔を覚えられ職員にも話して頂ける様心掛けています		ご家族、ご親戚、ご友人等よく見えています
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会を年数回職員で行っています又、社内研修に社外での伝達講習を含む内容を職員全員に伝えています		人としての尊厳を基本としています
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	必要に応じて時折かけている事があります	○	ドアを出ると急な階段があり施錠も考えなければなりません

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	個々の利用者さんのその日の様子を申し送り又、送りノートにも記入し引継ぎを行い状況を把握し安全に配慮しています		しっかり引継ぎをおこない又、前日などの記録に目を通す事も続け安全に努めたいとおもいます
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	はさみ、刃物、火のつくものは予めお預かりしています 使用する時は見守りをしています		入所前に予めご家族にお話し危険を防ぐ様取り組んでいます
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	研修や訓練により定期的に行っています		定期的に研修しています 事故の防止に取り組み知識の向上につなげていきたいです
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	応急処置の講習、研修を定期的に行っています		今後も定期的に訓練を行っていき全ての職員が慌てることなく対応できる様にしていきたいです
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	避難訓練・自主訓練・夜間避難訓練などを行っています 隣接しているホームとの協力は得られています		隣接しているホームと協力し安全に利用者を避難させる体制をえている
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	利用者の変化などを早めに伝えていきます		小さな事でもご家族にお話し相談に努めています

(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	日々の様子を知ることで変化に速やかに対応しています 都度職員間(夜勤者も含む)で情報を共有しています		顔色・歩行・話し方・食欲などの違いに注意しています
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬の説明書が記録簿のなかにあり又、個々の薬箱があります 服薬後の表情も観察しています又、社内研修にも服薬について内容をとりあげて重要性の確認に努めています		今後も服薬管理、副作用についてそれぞれが確認し安全に行えるよう努めたいと思います
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	1日の食事の中に果物、乳製品、繊維質を取り入れています 歩行や体操、マッサージ、水分量の把握に努めています排便有無を知り便秘していないか確認しています		便秘の方はかかりつけ医より下剤が処方されている方もおります
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後歯磨きをしており一人で不足のある方は一部介助、声掛けを行い清潔を保つよう心掛けています		毎食後職員が見守りや介助にてきれいに義歯・口腔内を磨いています
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	毎食時に食事量・水分量をチェックしています 体調に合わせて粥食などを提供しています		毎日食事量・水分量を記録しています 心配のある時は主治医に相談しています
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	毎年インフルエンザの予防接種を受けています ノロウイルス対策としては次亜塩素酸ナトリウムで手すり、床など掃除し、排泄物を長時間放置しない、生物は控え過熱した物を提供しています 手洗いの励行しています		職員は手洗いうがいを行っています 汚物処理は使い捨て手袋を使用し速やかに片付けています

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	台所、器材は消毒をし食材は賞味期限を確認しています 食材は鮮度の良い物を揃えています、又、加熱にも気をつけています 週に1度冷蔵庫掃除をし食材管理を行っています		夕食の後片付のあとで器材、台所、布巾など消毒しています
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	玄関周りにはフラワーボックスを並べて置いてあります 中庭には花壇と野菜を植えています、ベンチを設置したりスロープもあり車椅子も移動可能で誰でも入りやすくなっています		今後も継続して行っています
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節の飾り(お正月、ひな人形、五月人形、風鈴、クリスマス)をし季節を感じて頂ける様配慮し毎日の掃除により快適な環境作りを心掛けています、テレビの音やカーテンで光の調整をし不快のない様努めています		今後も継続して行っています
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	利用者が共有空間のソファなどにてそれぞれ自分の思い思いの過ごし方をしています 気の合った利用者同士でおしゃべりをたのしまれています		今後も継続して行っています
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ご本人が使っていた慣れ親しんだ物をお持ちいただき安全に安心な配置にして頂いています		タンス、ベット、写真、置物など自身の愛用している物を使用しています
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがなく換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	温度、湿度計を設置し適温に調整しています 換気扇を使ったり何度か窓を開け換気に努めています		ホーム内の空調調節し1日に何度か窓を開け換気しています
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
<p>85</p> <p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>ホーム内の床は全面バリアフリーで安全に歩けるようにしています、廊下・階段・トイレは手すりを設置しています</p> <p>浴室も手すりや滑り止めを使用し安全に入浴していただける様努めています</p>		<p>今後も継続して行っています</p>
<p>86</p> <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>トイレのドアに「トイレ」と貼っています</p> <p>各居室に名前とご本人の写真を付け自室をわかりやすくしています</p>		<p>安心して自信をもった生活をしていただけるよう職員と共にお手伝いやレク活動などを行っていただいています。</p> <p>自信の回復により、長年行っていなかった家事なども行っています</p>
<p>87</p> <p>○建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>中庭で喫茶を開いたり食事会をしています、又、同じ敷地内のグループホームがあり入居されている皆さんとの交流を楽しまれています</p>		<p>今後も継続して行っています</p>

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない ①
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない ①
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ①
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ②
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ④
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ①
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ②
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく ①ほぼ全ての家族 ②家族の2/3くらい ③家族の1/3くらい ④ほとんどできていない ①
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない ③

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない</p> <p style="text-align: right;">②</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p style="text-align: right;">②</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p style="text-align: right;">②</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p style="text-align: right;">①</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)